

◎主役は銭形2

今回取り上げるのは平和の「主役は銭形2」（オリンピア製）です。平和としては、「パチスロラブ嬢」に続く差枚数管理型のAT機。初代「主役は銭形」で好評だったBB711枚や伝説の3G連を再現したほか、六つの上乗せ特化ゾーンを搭載し、初代に負けない出玉感が楽しめます。市場導入は2月3日から。その内容に迫ってみたいと思います。

差枚数管理型のAT「銭形BIG」（純増約2.8枚/G）を搭載。さらに、六つの上乗せ特化ゾーンなどで期待感を盛り上げる。五つの可動役物を搭載した専用筐体「逮捕」もインパクト十分。



©モンキーパチ/TMS-NTV

初代の熱気を差枚数管理で再現

本機は差枚数管理型のAT機（純増約2.8枚/G）で、AT初当たり確率は1/297.1～1/180.8、出玉率は97.1～113.3%、コイン単価は約2.8円～3.1円、ベースは1000円あたり約31.7G。天井は999Gです。

■二つのチャンスゾーン

通常時、AT「銭形BIG」への期待感を盛り上げるのが、「ヒーローチャレンジ」「サーチライトチャレンジ」という二つの自力チャンスゾーン。「銭形デスク」などの四つの通常ステージから、チャンス役の成立で移行します。

「ヒーローチャレンジ」は規定G数内に決められた役で抽選するもの。「ルパン」「次元」「五ェ門」「不二子」の中から好きなキャラを選択できるのですが、キャラによって、継続G数とその間の対応チャンス役が変化します。ちなみに、「ルパン」は10Gでリプレイ、「次元」は7Gでプラム、「五ェ門」は15Gでベル。「不二子」のみが1G、レバーONによる一発抽選型です。

「サーチライトチャレンジ」は10G固定。プラムが入賞するたびに、「銭形BIG」当選期待度がアップします。

■銭形BIG（AT）

「銭形BIG」（純増約2.8枚/G）は差枚数管理型AT。初期獲得枚数は150・200・250・300・400・550・711枚の7種

類。突入時の赤7成立ライン数で初期獲得枚数の期待度が異なり、シングルぞろいは最低150枚、ダブルぞろいは最低200枚、トリプルぞろいは最低300枚です。

「銭形BIG」終了後、銭形が3G間でルパンを逮捕できれば、再び「銭形BIG」へ。711枚の3G連もありえます。

■六つの上乗せ特化ゾーン

上乗せ特化ゾーンは「不二子チャレンジ」「ゼニガッツ」「ゼニガターボ」「ゼニガターボZERO」「タイプラッシュ」「スーパーヒーロー」の六つ。

「不二子チャレンジ」は、「銭形BIG」当選時などに突入する5G継続の「銭形BIG」ストックゾーン。この間に赤7ぞろいを引いた分だけ、「銭形BIG」をストックします（「銭形BIG」成立時は、「銭形BIG」の消化後、再び5Gでスタート）。

「ゼニガッツ」は、「銭形BIG」中のチャンス役成立を契機に突入するコンボ上乗せ特化ゾーン。プラムが連続入賞するほど、枚数が上乗せされます。

「ゼニガターボ」は「銭形BIG」中の白7カットインやチャンス役などを契機に突入。白7がそろったときに（成立確率約1/5）、枚数を上乗せします。

白7ぞろいの次Gでフリーズ演出が発生すれば、0G連上乗せ特化ゾーンの「ゼ

ニガターボZERO」に。白7ぞろいの嵐が訪れるだけでなく、この間、「レア役による枚数上乗せ」「ゼニガッツ」「ゼニガターボ」「銭形BIG」を抽選します。

また、「タイプラッシュ」は、「銭形BIG」中にいつもと内容の違うタイプライター文字が液晶画面に現れる、タイプライター演出を契機に突入。3ケタ上乗せが80%でループします。

そして、「スーパーヒーロー」は、「銭形BIG」中のルパンのカットイン演出を契機に突入。ルパンが、それまでの獲得枚数の中から100枚、200枚と盗んでいく液晶演出が展開されるのですが、実際には、盗んだ枚数分だけ上乗せされていくというユニークな演出です。

こうしてみると、通常時はかなりきついかもしれない。逆に言うと、平和ならではのメリハリのきいた台であるということでもあります。そのへんを設定担当者がどうカジ取りしていくか。ただ、販売台数が約2万5000台と抑え目なこともあり、ホール貢献度は高そうです。

PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）
株式会社アテイン 代表取締役
関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は約23年。現在はホールコンサルタントのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている（詳しくは<http://at-attain.com>参照）。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。